

連携ツールアンケート調査結果

令和4年4月実施
松山市介護保険課

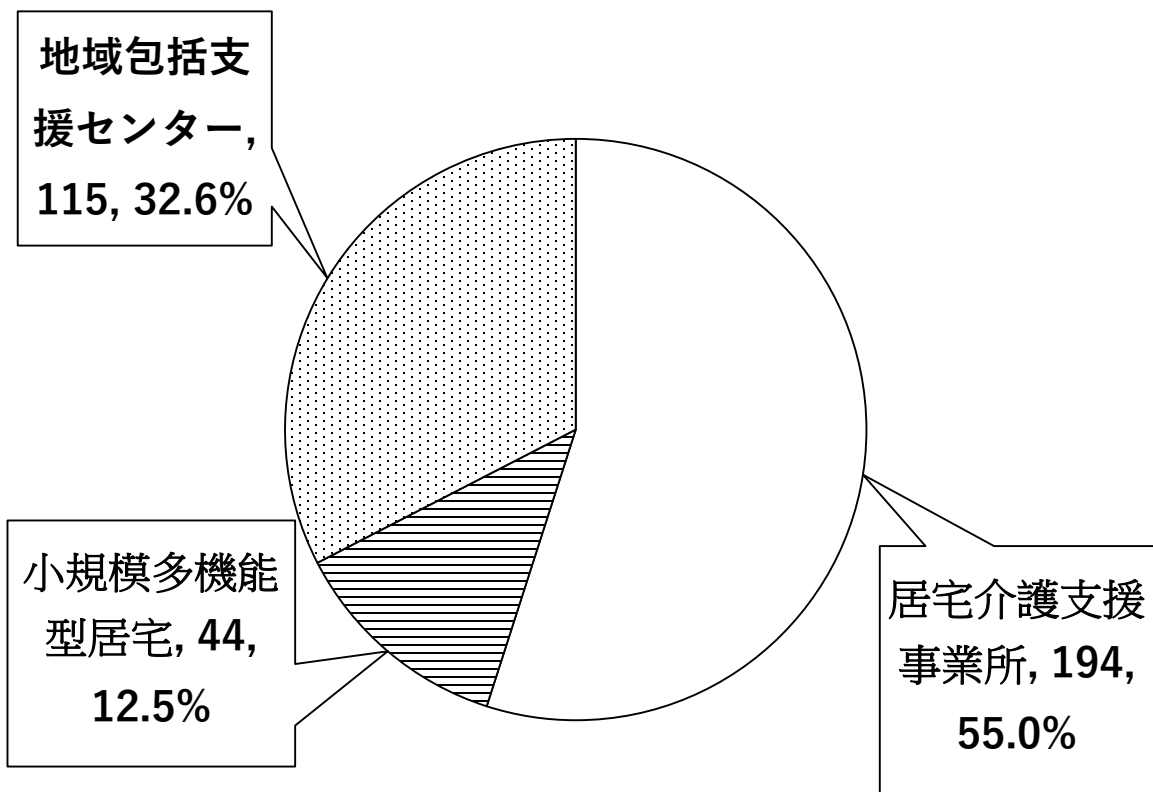
連携ツールの活用状況に関するアンケート調査

- 【目的】 令和元年8月に作成した松山市の連携ツールの活用状況等を把握することで課題を明らかにし、その対応策を検討することを目的として令和2年度から毎年実施している。
- 【実施時期】 令和4年4月15日～5月6日
- 【対象】 市内の①居宅介護支援事業所(198箇所)
②小規模多機能型居宅介護事業所(55箇所)
③地域包括支援センター(13箇所)
- 【実施方法】 各事業所等にアンケート依頼文をメール送信し、専用のアンケートフォームにて回答。

連携ツールの活用状況に関するアンケート結果 1

【令和3年度】

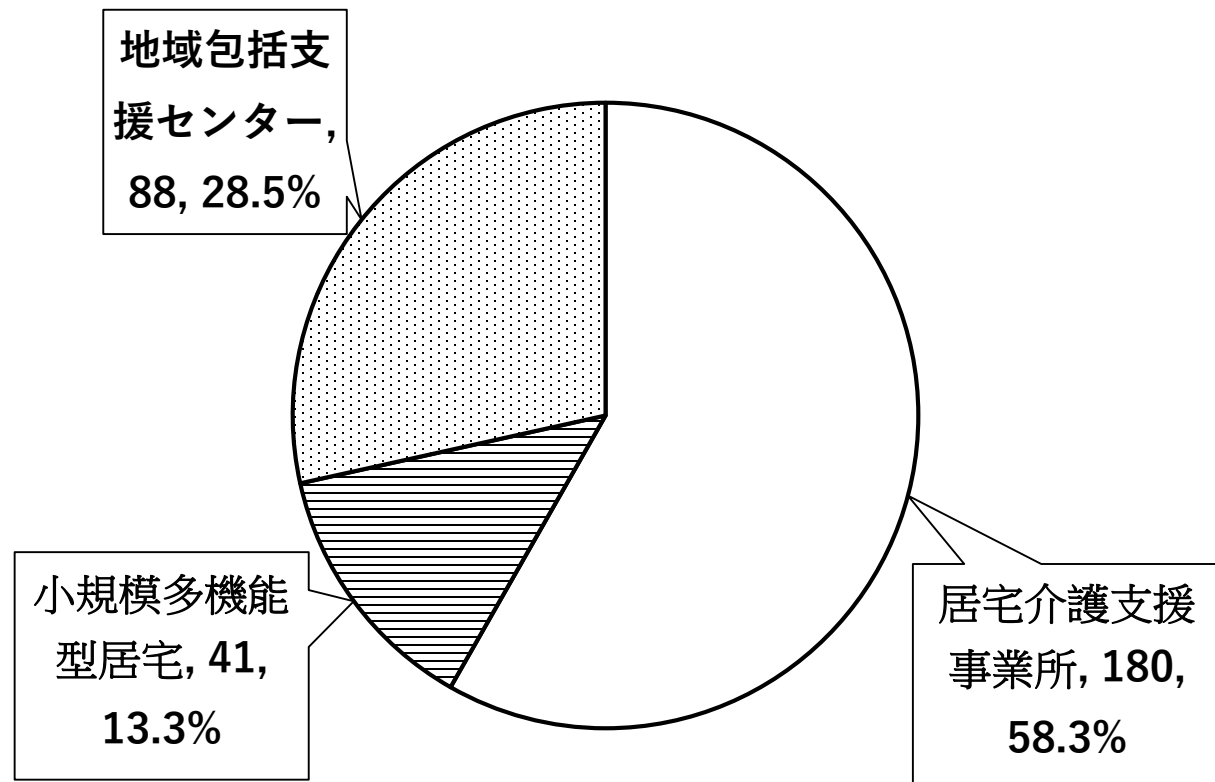
事業所別内訳



(回答数：計353件)

【令和4年度】

事業所別内訳

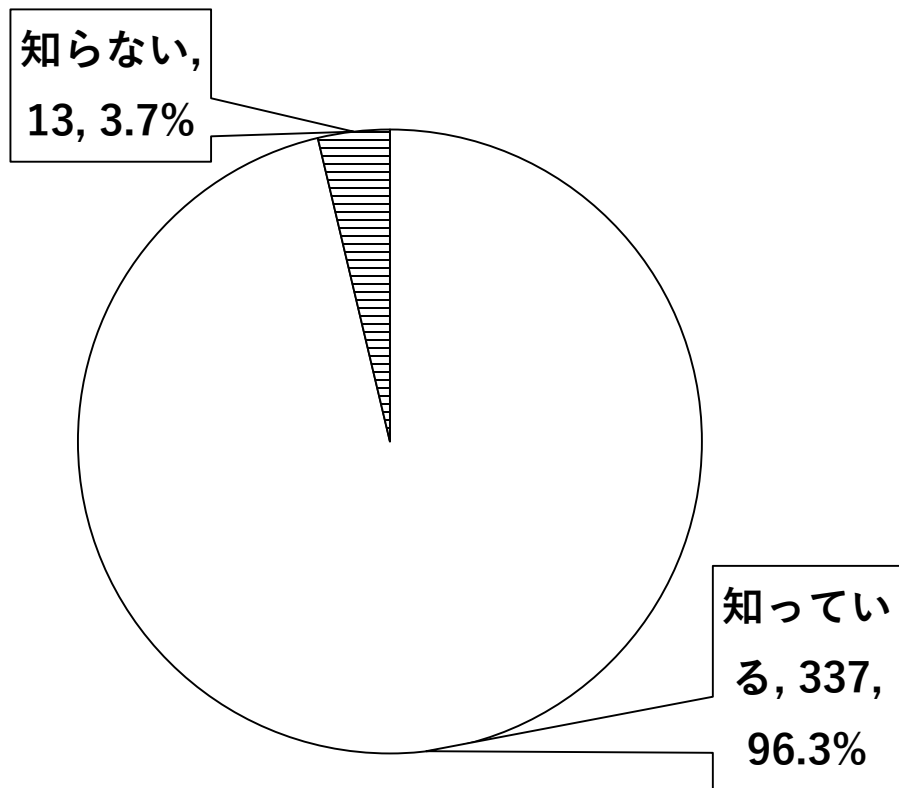


(回答数：計309件)

連携ツールの活用状況に関するアンケート結果 2

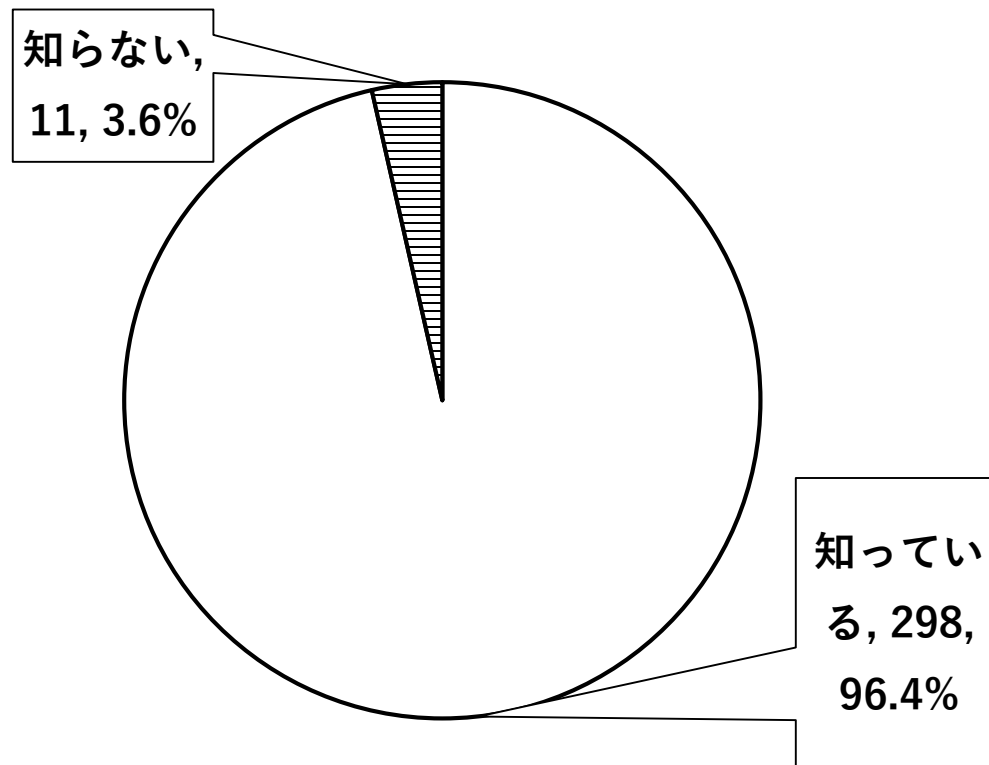
【令和3年度】

問1、連携ツールを知っているか



【令和4年度】

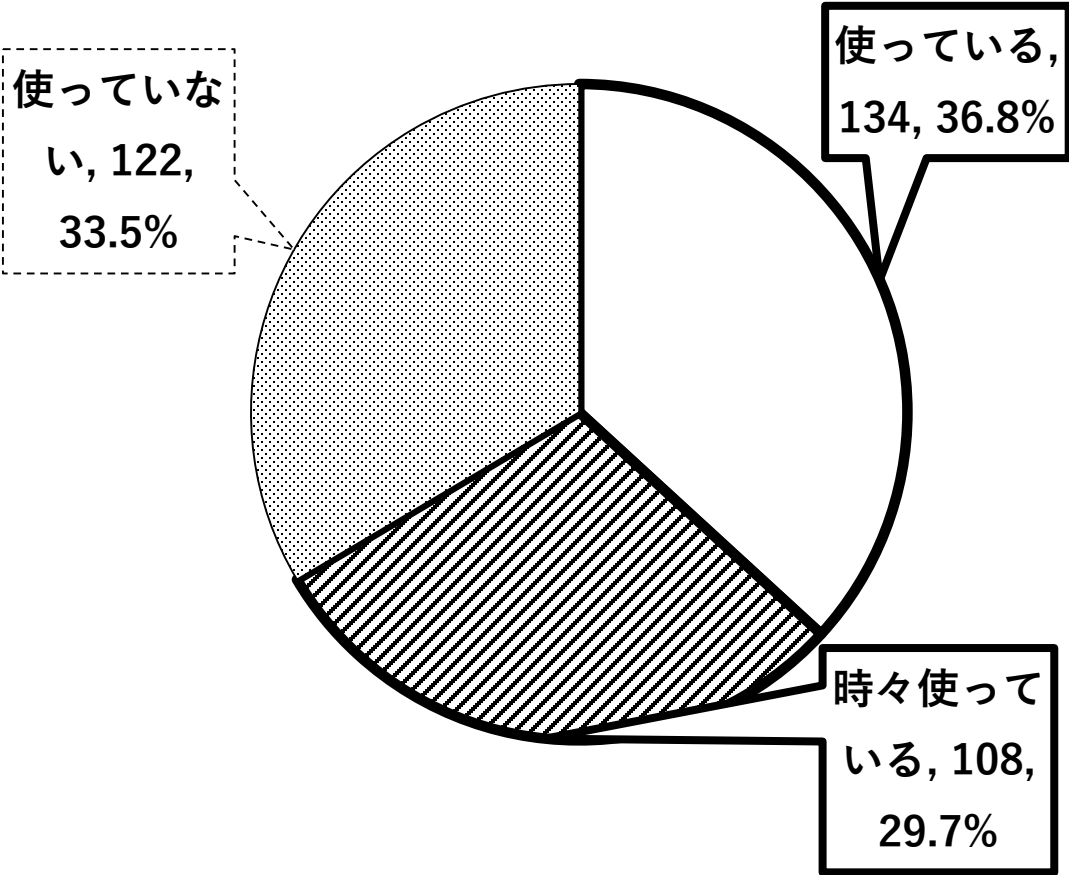
問1、連携ツールを知っているか



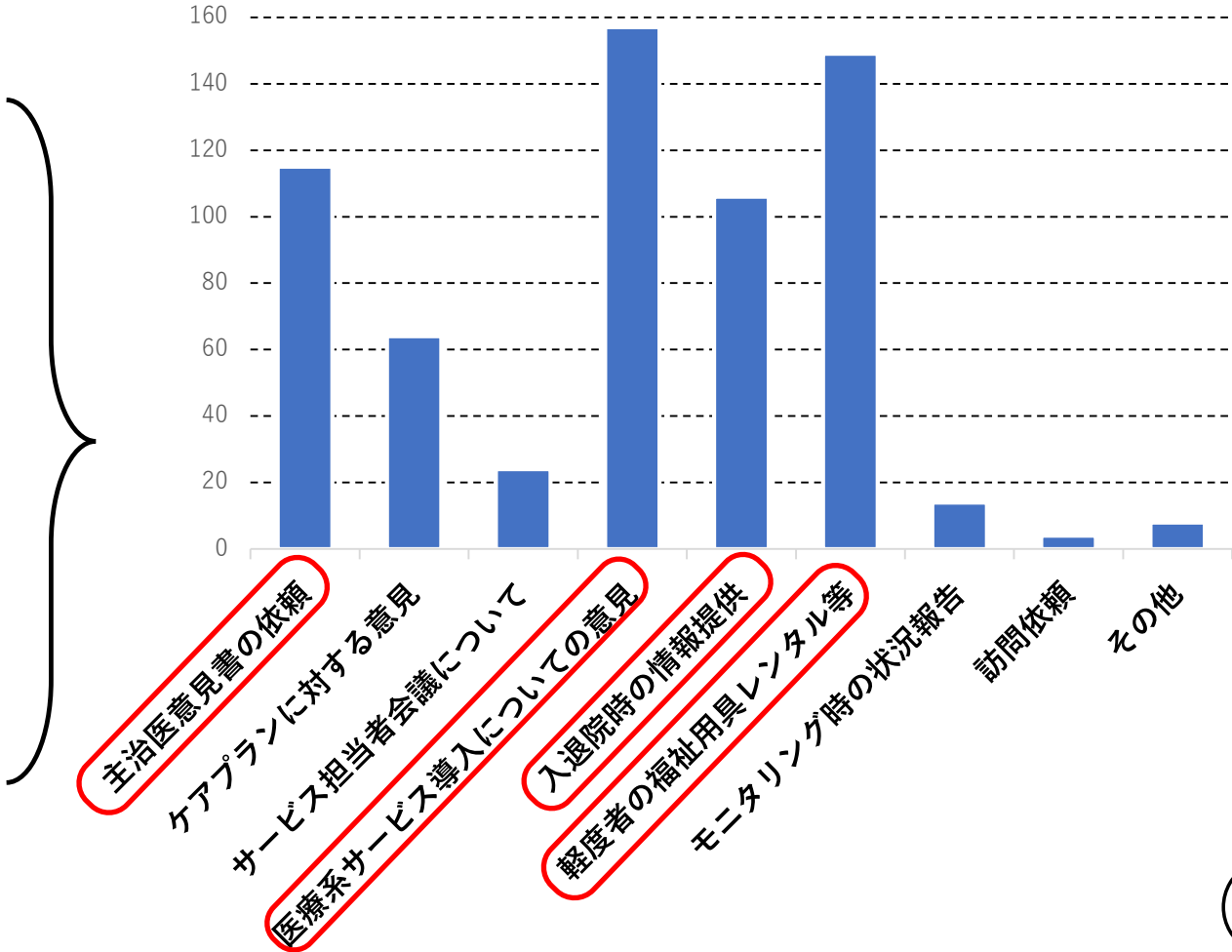
連携ツールの活用状況に関するアンケート結果 4

【令和3年度】

問2、連携ツールの使用



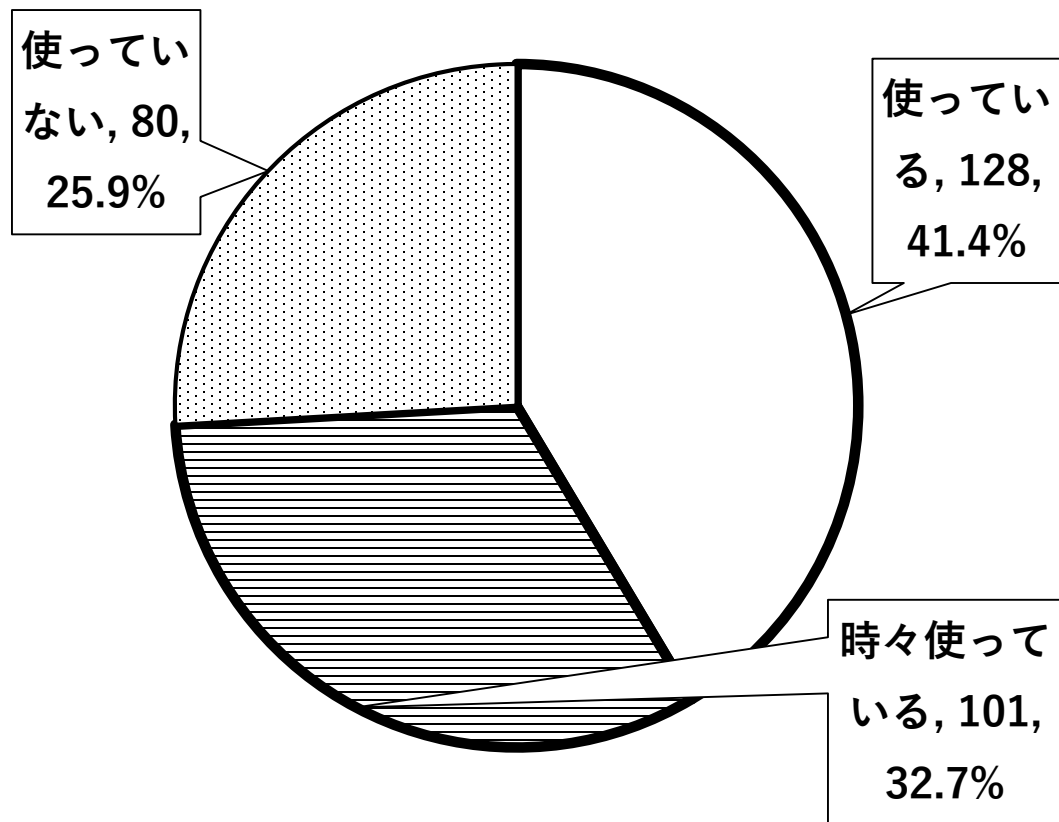
問3、使用の用途 (複数回答)



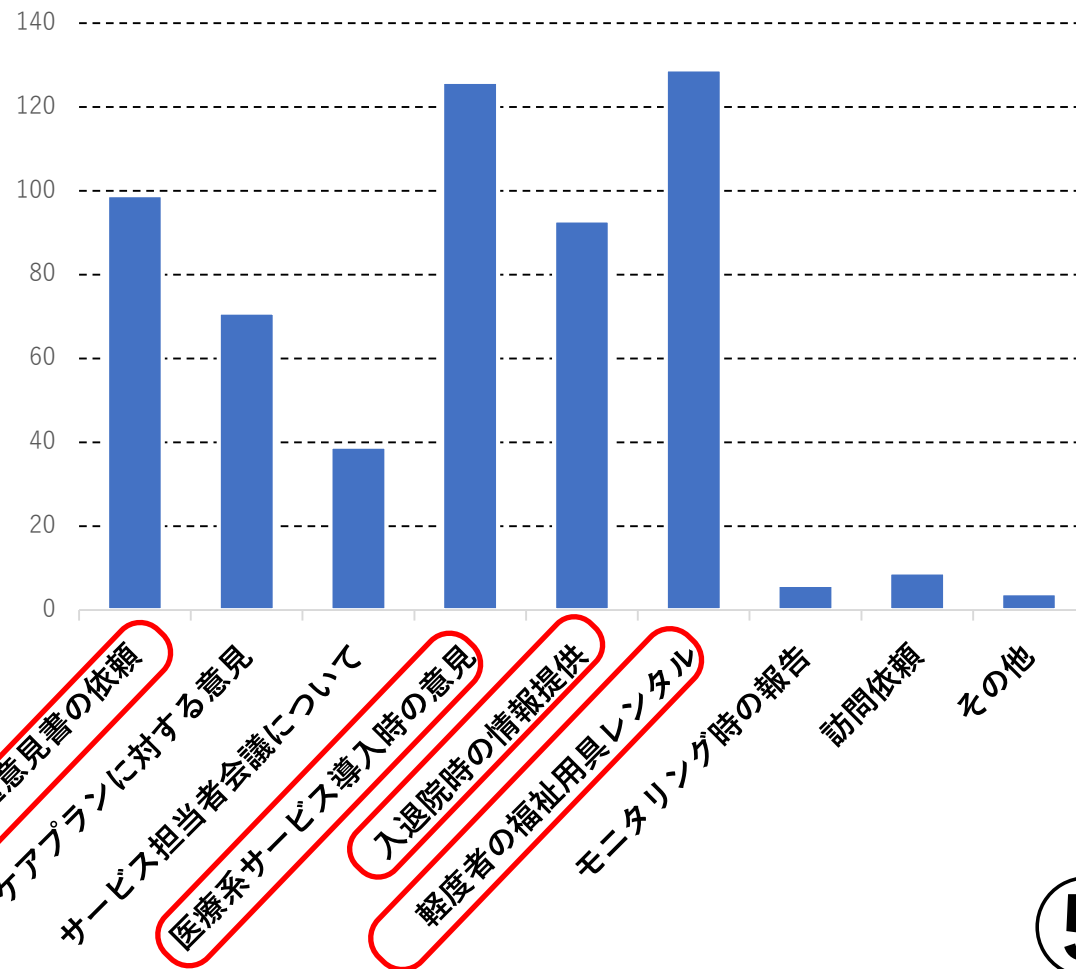
連携ツールの活用状況に関するアンケート結果 3

【令和4年度】

問 2、連携ツールの使用



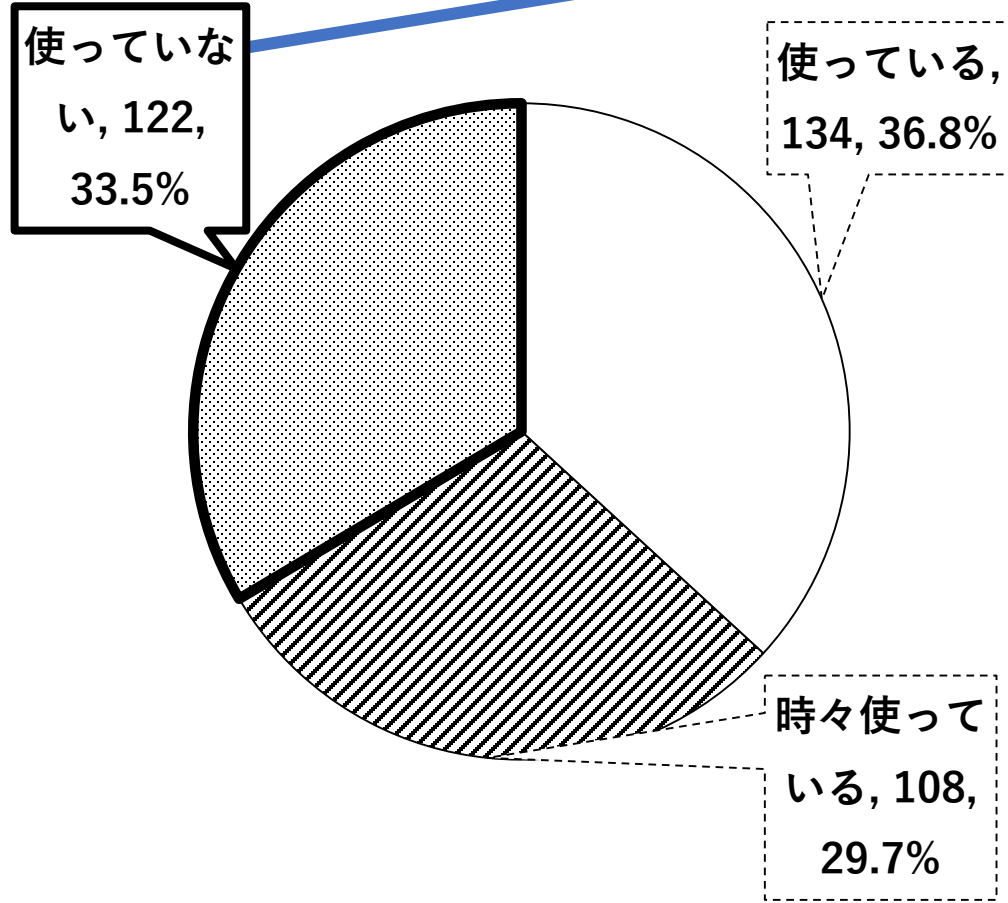
問 3、使用の用途 (複数回答)



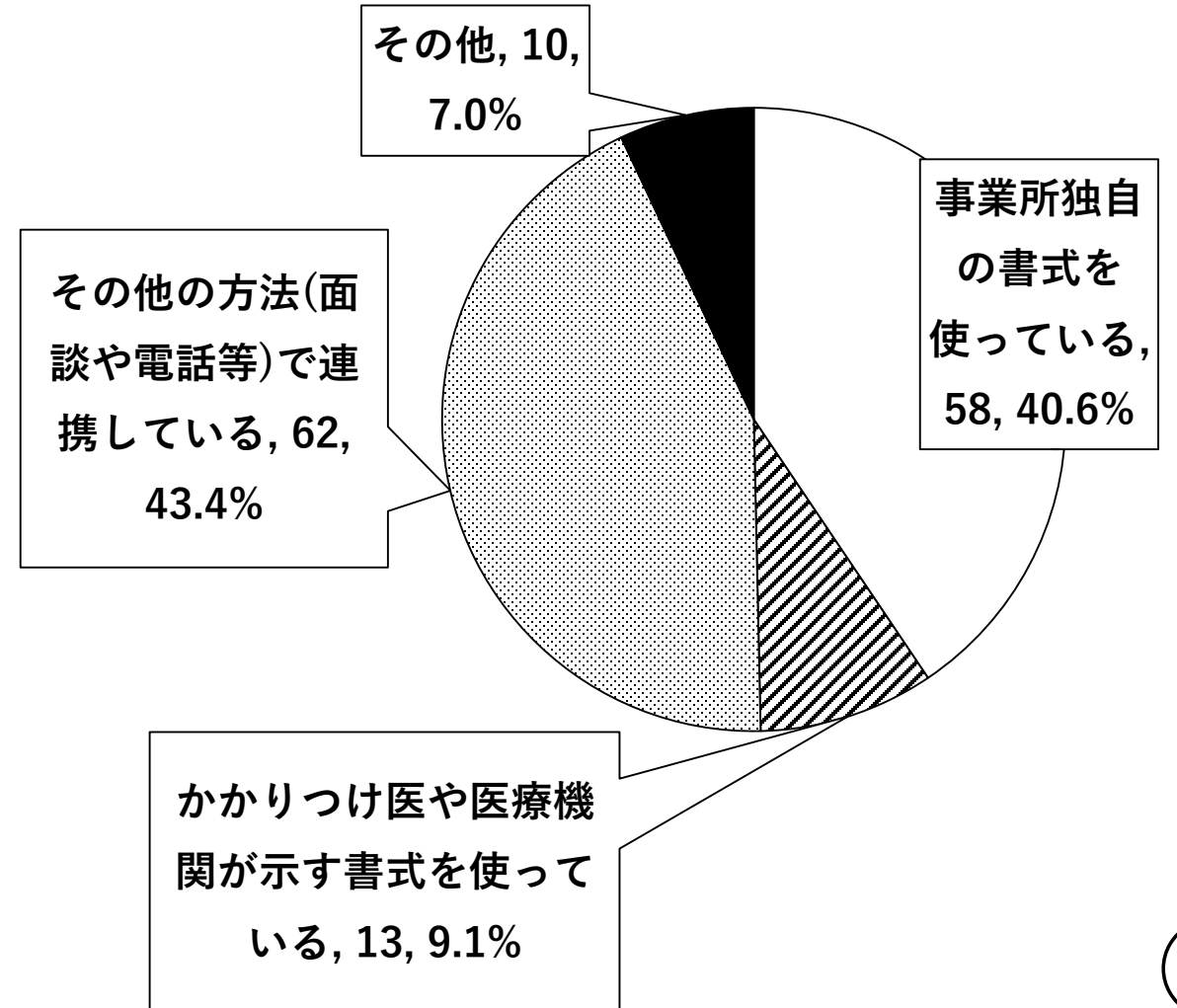
【令和3年度】

連携ツールの活用状況に関するアンケート結果 6

問2、連携ツールの使用



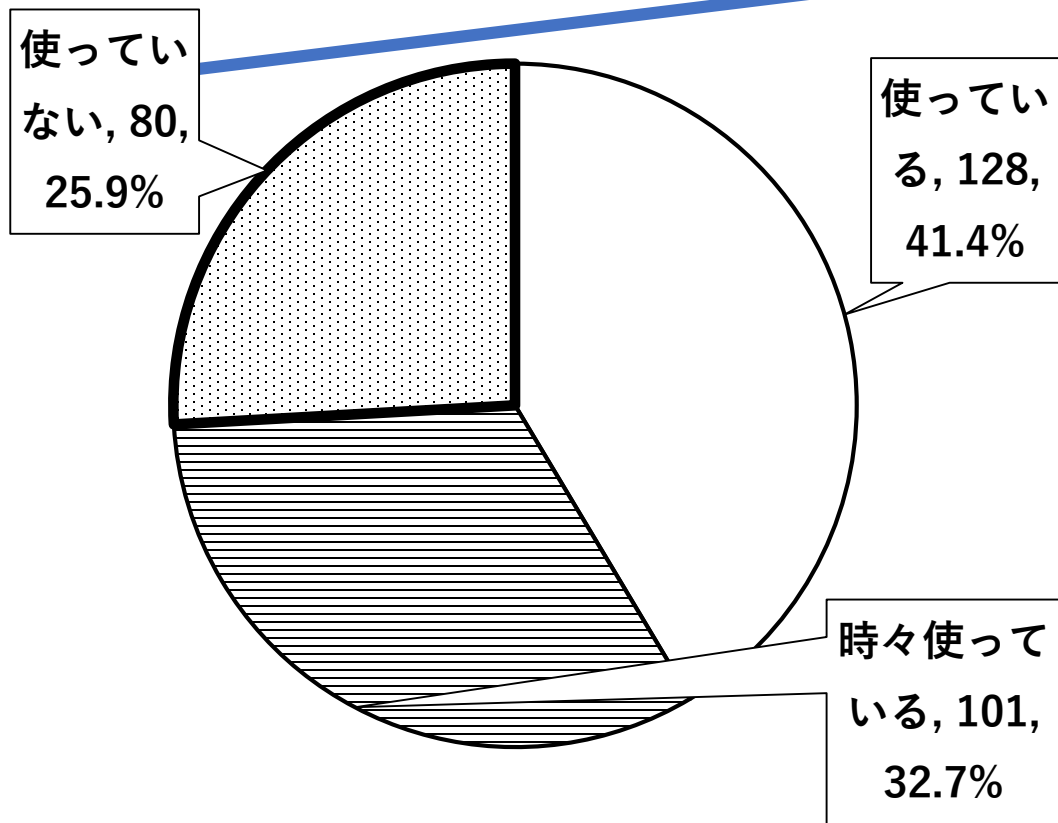
問4、使っていない理由 (複数回答)



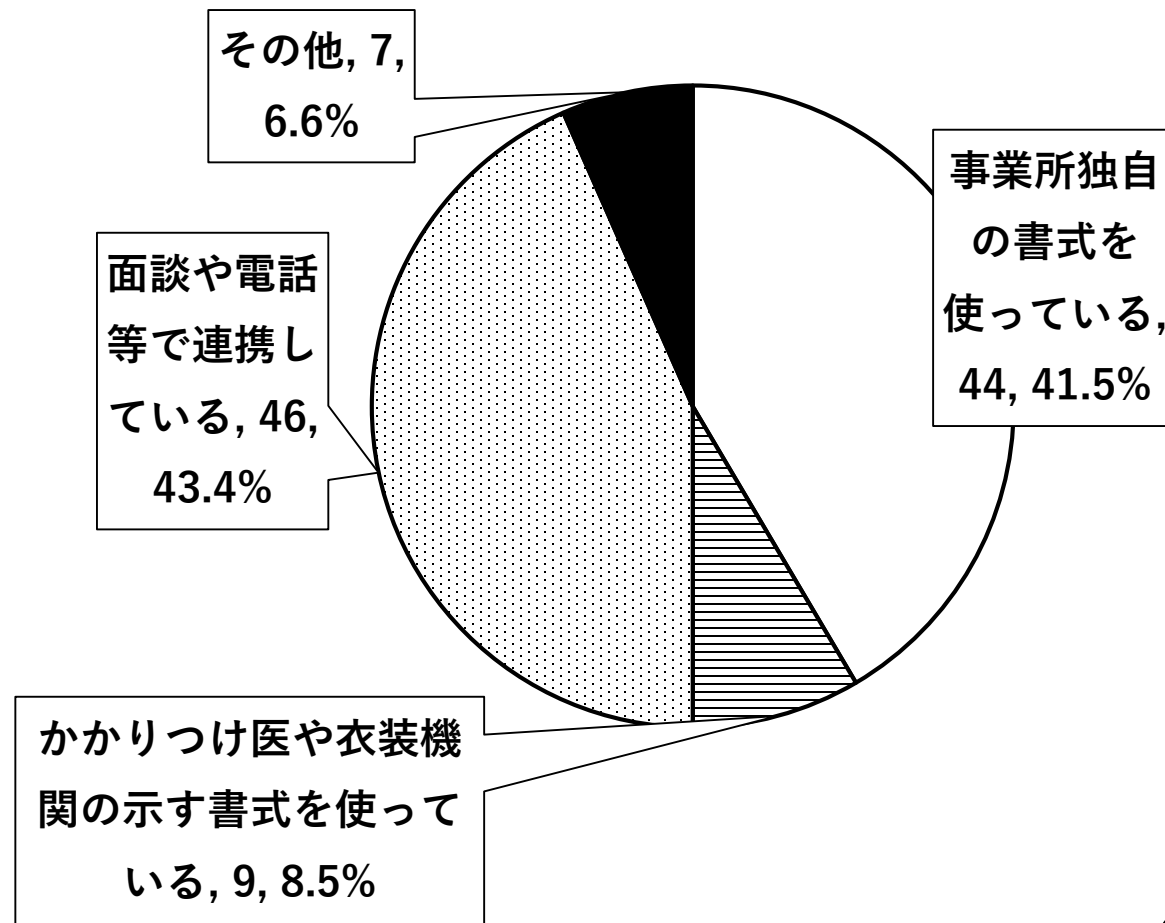
連携ツールの活用状況に関するアンケート結果 5

【令和4年度】

問 2、連携ツールの使用



問 4、使っていない理由 (複数回答)



連携ツールの活用状況に関するアンケート結果まとめ

- 令和3年度と比較して、「市の連携ツールを知っている」と答えたケアマネジャーの割合はほぼ同じ（96%以上が知っている）。
- 連携ツールを「使っている」「時々使っている」と答えた介護支援専門員の割合は66.5%から73.8%に増加した。
- 連携ツール使用の用途及び使っていない理由は、令和3年度と同じ傾向であった。